

2016年7月20日

お客様各位

株式会社キョクトウ・アソシエイツ

かんがえる学習帳 国語ノート(L10R)付録資料の修正に関して

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

小学校の授業に対応したノートとして長くご愛顧いただいております「かんがえる学習帳」において付録資料に誤解を招く表現があり、以下の通り改編する事としましたのでご案内申し上げます。

<内容>

松尾芭蕉の俳句「古池や かわず飛（と）び込（こ）む 水の音」

その説明文に「かわず（カエル）が夏を示す季語です。」と記載があるが、紙面スペースの都合上、詳細説明が省略されており、誤解を招く表現になっている事が判明しました。俳句に記載されるカエルの種類によって季語が違う（雨蛙＝夏、青蛙＝夏、蛙＝春 等々）事が誤解を招く原因になっており、表現及び掲載俳句を変更する必要があると決定いたしました。

<原因と改善策>

かんがえる学習帳は、子どもたちに色々な使い方をしてもらうために様々なアイデアを取り入れています。表紙裏の付録にも実際に鉛筆で書き込んでもらい、それが自分や家族の人、先生たちの目に触れることで成長を感じ取ってもらえるように意図しています。

国語ノート(L10R)では、季語の存在を理解して自分で季語の入った俳句作りにチャレンジしてもらうことを念頭に付録が作られています。本来であれば、「かわず（カエル）」の種類によって夏の句にも春の句にもなることを紹介、そのあとで「桜」や「雪」で俳句を実際に考えてもらうような紙面構成を計画したのですが、紙面のスペース上、説明文を簡略化したため、「カエル＝夏」であるかのような表現になっておりました。

限られた紙面で紹介しきれない題材を選んだことを反省し、今後は同じ松尾芭蕉の句である、「閑（しず）かさや岩にしみ入る蟬（せみ）の声」を紹介し速やかに改編していく所存です。ご指摘いただいた方のご意見をこれからも尊重し、より良い学習帳作りで子どもたちの「学び」を応援したいと考えております。何卒よろしくご理解とご支援をお願い申し上げます。